

2023年度 第1回 星崎学区 要配慮者利用施設 防災懇談会 参加報告書

日時：令和5年6月10日(土) 14:00~15:30

場所：星崎コミュニティセンター

参加者：陶山・中村

要配慮者(高齢者・障害者・子供等)の通所、入所施設や学校、病院等において、水害が発生するおそれがある場合に利用者の円滑かつ迅速な避難の確保が求められます(水防法)。

星崎学区内には19の要配慮者利用施設があります。災害発生時、事業所だけでは解決できない問題を、地域住民のみなさんの力も借りながら乗り切っていくために各施設の課題等を出し合う場として、懇談会の開催に参加いたしました。

当日のスケジュール

- ・参加施設自己紹介
- ・2022年度防災懇談会振り返り
- ・2023年度懇談会日程
 - 1回 6/10 14:00~
 - 2回 8/12 14:00~
 - 3回 10/14 14:00~
 - 4回 12/9 14:00~(予定) ※12/3(日) 学区防災訓練
- ・2022年12/11星崎学区防災訓練参加の感想・課題
- ・2023年度要配慮者施設でおこなっていきたいこと
 - 町内会の方に協力いただく形の訓練の日程設定しましょう
 - 事前に町内の方に施設を見学していただきましょう
 - 他事業所の訓練にも参加して交流しましょう
- ・名古屋市防災人災育成方針について

2022年12月の防災訓練における感想・課題

- ・高齢や車椅子の方は、階段なので屋上に避難できない
- ・小学校に着いた方がいいが、何をすれば？
- ・災害時の物資がない状態のときにどう対処や工夫するのか
- ・障害特性によって必要物資が異なる(ろう者→メモ帳とペンの確保やスマホの利用等)
- ・要支援者ルームに行くにも階段があり困難

- ・障害者や高齢者の教室の床での長時間は困難・椅子の確保が必要
- ・避難者絶対数が把握できないので、行っていいのか考えてしまう
- ・認知症の方の限られたスペースでの避難の難しさ
- ・簡易トイレはトイレと認知できるか、真っ暗な中利用できるのか
- ・簡易担架は、持ち上げることができるので階段等の使用がしやすい
- ・起震車(震度6-7)体験で、車椅子が倒れることが分かった、腕の力だけで支えられない
- ・星崎学区の人口おおよそ6000人、施設入所の方や会社の方等合わせると星崎小学校だけでは対応困難かと思われる。
- ・電源の確保に加え食料や備品の備蓄も足りないのではないか。
- ・各事業所にてできる限りの対策必須であること。
- ・災害にも種類があるので、各災害別に対策と訓練が必要。
- ・水害の場合は、ある程度時間に余裕があるので、対策しやすい(プラスチック容器などを用い、常備薬や大切な物の水没回避)

など多くの課題が出ました。

これに際し、今後、一般家庭だけでなく施設同士で防災対策の役割分担を取り入れ、星崎診療所等医療分野とも連携が必要である。

各施設ごとに、どのような援助が必要なのかを地域の皆さんに知っていただくことが大切という視点から、ボランティア活動として、だんらんの中村様等が施設訪問をしどのような施設なのかをまとめていきつつ、各施設が、他施設での防災訓練の見学や参加をし交流をしていきたいと思います。となりました。

懇談会参加

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ・南区役所 | ・名古屋市役所 防災対策課 |
| ・名古屋大学 防災対策 木俣様 | ・星崎学区民生委員 会長 |
| ・星崎学区副学区町 早川様 | ・消防団団長 立松様 |
| ・社会福祉協議会 | ・南区障がい者基幹支援センター 林様 |
| ・ゆたか福祉会 ライズ様 | ・ゆたか福祉会 生活支援事業所 |
| ・星崎診療所 | ・星崎サロン だんらん 中村様 |
| ・オアシスヴィラ 梶原様 | ・トライズ |
| ・ふれあい共同作業所 | ・相談支援センター ひとこま |
| ・起承転展 利用者様・相談員様 | ・グループホームなも |

等の参加がありました。